

第 208 回  
定例探鳥会

日時：2004 年 4 月 11 日 (日) 天候：晴れ  
コース：高来神社 化粧坂 水道山 湘南平

今朝は快晴で気持ちよく、鳥たちもそんな季節を感じてか集合場所の高来神社ではアカハラの が出てきて来たり、アオジの囀りを聞くことができたりと出発前から盛り上がりました。今月まではレンジャク探しの市街地から湘南平まで登るコースです。水道山の入り口でもアオジがよく囀っていました。しばらく行くとマヒワの群れ30羽以上がコナラの花序を食べている姿が見られ、上空ではオオタカが舞い、冬鳥のツグミがいたり、アオゲラのドラミング、コジュケイのけたたましいさえずりなどが聞こえたり春だなー、いい気持ちになります。

とりあえず探鳥会を解散した後は湘南平で恒例のお花見です。天気も最高で桜の花もまだ残っていて気持ちのいいお花見になりました。皆様のご馳走の差し入れで今年も楽しく和気あいあいの楽しい時間をすごすことが出来ました。また来年が楽しみです。

参加者		参加人数 50 名 (敬称略)				
1. 鈴木 逸子	2. 八木 正	3. 小野 肇	4. 紺 龍彦	5. 平塚津矢子		
6. 下倉 紘一	7. 山田 文則	8. 南 博	9. 南 那津子	10. 木田 ハマ		
11. 鈴野 嘉久	12. 大坂 英樹	13. 大坂 聖子	14. 大坂 翔人	15. 大坂 研人		
16. 沢田 興三	17. 大谷 秋代	18. 加藤 卓也	19. 清水 哲子	20. 村上 実樹		
21. 瀬尾 隆	22. 原 一利	23. 松本 鈴子	24. 山下 勝司	25. 室野 義晴		
26. 国友 昭男	27. 白井 弘恭	28. 片倉 暹	29. 大川 幹夫	30. 古賀 勝秋		
31. 吉尾 孝	32. 小谷 茂雄	33. 中村 容	34. 蔵前 かづえ	35. 高橋 徳江		
36. 関谷 育雄	37. 関谷 拓実	38. 関谷 昂	39. 別所 三郎	40. 伊藤 武雄		
41. 白田 仁志	42. 白田 則子	43. 石原 遼	44. 吉田 敬一	45. (田端 裕)		
46. (西ヶ谷 修一)	47. (岩佐 昌夫)	48. (内山 規矩雄)	49. (金子 典芳)	50. (斎藤 常實)		

見聞きした鳥		種類数 28 種 (ドバトを含む)				
1. アオサギ	2. トビ	3. オオタカ	4. ノスリ	5. コジュケイ		
6. キジバト	7. ドバト	8. ヒメアマツバメ	9. コゲラ	10. アオゲラ		
11. ツバメ	12. イワツバメ	13. ヒヨドリ	14. アカハラ	15. ツグミ		
16. ウグイス	17. ジジュウカラ	18. ヤマガラ	19. メジロ	20. ホオジロ		
21. アオジ	22. カワラヒワ	23. マヒワ	24. シメ	25. スズメ		
26. ムクドリ	27. ハシボソガラス	28. ハシブトガラス				

## 鷹取山・吉沢自然観察会レポート(第48回市民探鳥会)

4月29日(木・みどりの日)、ゴールデンウィーク初日に鷹取山・吉沢自然観察会(第48回市民探鳥会)が行われました。快晴で、朝のうちはちょっと肌寒かったものの春を通り越して初夏を思わせるように暖かく、絶好のバードウォッチング日和でした。東の池から谷戸川沿いに歩き、鷹取山が遠望できる開けたところに来ると、オオルリのさえずりが聞こえてきました。枯れ木の梢にとまっている姿を望遠鏡で捉えることができました。ちょっと遠かったのですが、青い背中と白いお腹を見ることができました。しばらく歩くと今度はキセキレイの音が聞こえました。新緑の中で枝にとまっている黄色いキセキレイの組み合わせがとてもきれいでした。キビタキのさえずりも何ヶ所かで聞こえたのですが、姿を見つけることはできませんでした。ヤブサメの虫のような声も2~3ヶ所で聞かれました。残念ながらセンダイムシクイの声は聞かれませんが、ツバメ、イワツバメも見ることができ、冬鳥から夏鳥への移り変わりが実感できました。歩く道の両側は草花が競うように咲いており、参加者の目を楽しませてくれました。



見聞きした鳥 : 34種(ドバト、ガビチョウを含む)

ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、カルガモ、コジュケイ、バン、キジバト、ドバト、ヒメアマツバメ、コゲラ、アオゲラ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ツグミ、ヤブサメ、ウグイス、キビタキ、オオルリ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ガビチョウ  
参加者数 : 43名

### 『アオバトのふしぎ』 発売開始・売れ行き好調

『アオバトのふしぎ』がついに4月20日に発売となりました。地方小出版社の発行ということで一般の書店の店頭の本を置くことは不可能なのですが、委託という形で紀伊国屋、リプロ、有隣堂、ジュンク堂などの大型店には予約読者がいなくても例外的に並べてくれます。横浜(具体的な場所は不明)と藤沢の有隣堂には並びます。平塚のマイブックス平塚、大磯の出口書店、大川書店では店頭で陳列されています。

こまたんでも探鳥会などの機会を見つけてのお知らせや案内チラシの張り出し・配布、口コミなどで宣伝してきました。4月20日~26日には地元の湘南ケーブルネットワークの「情報カフェ!湘南館」という30分番組の中で特集コーナーに取り上げられ、こまたんの金子・岩佐両氏が約8分間にわたって本の宣伝を兼ねて出演しました。インターネットで検索すると、多くのホームページで取り上げられており、いくつかの好意的な読後感想も掲載されています。

幸いに売れ行きが好調で、すでに1000部以上が売れています。皆様の暖かいご支援、ご協力に感謝するとともに、重版の夢の実現に向けてより一層の応援をお願いします。

**アオバトのふしぎ … こまたん著 / エッチエスケー / 税込み ¥1,680**

お買い求めの際には前記の書店にお尋ねください。お近くの書店にご注文の際は上記の書名、著者名、出版社名とともに、「地方・小出版流通センター取り扱い品」であるという申し込んでください。本の詳しい内容は <http://homepage3.nifty.com/prahnsk/> をご覧になれます。

## ミズキ(水木)

秋に熟すこの実はアオバトやヒタキの仲間の格好の餌である。落葉高木樹で、枝張りが独特で階段状の樹形になる。果実は鳥に食べられ、種子が未消化のまま排出されて分布を広げる鳥散布植物である。果実の枝が赤くて果実の存在を知らせる。これを「二色効果」と呼ぶ。材は白色で節がないので、こまやこけしに使われる。名前の由来は、樹液が多く早春に枝を切ると水が滴り落ちることからつけられた。



## クマノミズキ(熊野水木)

枝の張り方はミズキと同じ放射状になるが、ミズキのように平行でなく斜上するのですぐ分かる。果実はミズキと同じ球形だが、平滑で先にくぼみはない。ミズキとクマノミズキの違いは、先に述べた枝の張り方の違いと、ミズキは葉が互生し葉身が広卵形または広楕円形で幅が広く先が急にとがること、クマノミズキは葉が対生で卵状長楕円形、先は尾状に鋭くとがることで分かる。また、花期はミズキが5~6月、クマノミズキが6~7月で、ミズキの方が一ヶ月早い。クマノミズキは比較的南に多く雪国には少ない。名前の由来は、はじめて発見された三重県熊野にちなんだものである。

## こまたんホームページのアドレス変更

「アオバトについては世界一をめざす」こまたんのホームページは1998年10月に開設されました。このサイトの作成から管理・運営までのすべては、大坂さん個人のボランティアにより支えられていました。情報が非常に多くなり、お仕事に非常に多忙な現役の個人に頼ってはいは限界があります。「アオバトのふしぎ」の刊行にあわせて独自ドメインを取得し、複数の担当者による管理システムを構築して、新しいアドレスでホームページを運用することになりました。アオバトの情報については当然ですが、探鳥会や各種行事のお知らせなどをタイムリーに掲載していきます。本紙(定例探鳥会会報「緑鳩」)もホームページで読めるようになりました。今のところ2002年以降となっていますが、順次さかのぼって載せていこうと準備中です。新アドレスは次のとおりです。みなさまの「お気に入り」への登録をお願いします。

<http://www.komatan.jp/>

こまたんホームページについてのご意見、ご要望があれば、サイト内の掲示板にお書き込みくださるか、サイト管理者グループメンバー(大坂・田端・斎藤・岩佐・安藤・下倉・金子)にお知らせ願います。

## 東京バードフェスティバル 2004

“野鳥を楽しむ心のゆとり。バードウォッチングからスローライフをはじめよう”というテーマで、「東京バードフェスティバル 2004」が開園15周年を迎えた東京港野鳥公園で5月22日(土)と23日(日)に開催されます。日本野鳥の会神奈川支部のブースでは、こまたんの「アオバトのふしぎ」の紹介と宣伝が予定されています。詳しいことは次のアドレスにアクセスしてご確認ください。

[http://www.tptc.or.jp/park/topics/topics\\_025.htm](http://www.tptc.or.jp/park/topics/topics_025.htm)

6月の定例カウント調査は6月5日(吉沢・土屋)と6月12日(鷹取山)です。

午前6時に、高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。午前中に解散。雨天中止

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

## 鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

### アオバト情報

**照ヶ崎への飛来初認** : 5月1日 6:42 プール側を見ていると海側から 1羽が飛び出し、西湘バイパスを越えてエリザベスサンダースホームの松の木の中に飛び込んだ。これはこまたんとして確認した飛来初認となった。4/19に 1羽、4/20に 2羽を見たという情報が届いていますが、現在確認中です。

**海水吸飲初認** : 5月1日 7:52 1羽・1羽 漁港側から岩礁に降りて吸飲。

**照ヶ崎以外の観察記録** : 4/6 虫窪( 1羽 飛翔)、4/13 鷹取山(声)、4/21 山北(声)、4/30 土屋(声)、4/30 遠藤原(声)、5/1 吉沢(声)、5/2 土屋(1羽 飛翔)、5/3 水沢林道(声)

**お帰りなさいアオバト観察会** : 5月30日(日) 午前5時頃から、照ヶ崎海岸(お好きな時間にどうぞ！)

### その他の野鳥情報 ... (S)はさえずりを聞いたもの

コマドリ : 4/9 地獄沢(S 2羽)、4/20 境川(S)、4/24 吉沢(S)、4/26 日の宮山(S)

オオルリ : 4/10 熱海・日金山(S)、4/14 境川、4/14 谷戸川(S)、4/17 水沢林道、4/29 谷戸川( 1羽)、

4/18 大磯・サンダースホーム(S)、4/18 逗子(S)、4/20 横浜(S)、4/30 土屋(S)、その他多数

ヤブサメ : 4/12 大山(S)、4/13 日の宮山(S)、4/17 山北(S)、4/20 境川(S)、5/1 吉沢(S)、その他多数

センダイムシクイ : 4/17 水沢林道、4/18 玄倉林道(S)、4/23 土屋(S)、4/24 吉沢(S)、その他多数

エゾムシクイ : 4/24 吉沢(S)、4/26 茅ヶ崎・芹沢、4/26 鷹取山(S)、5/1 吉沢(S)、5/3 水沢林道(S)

ツツドリ : 4/17 水沢林道(S)、4/24 吉沢(S)、4/26 金時山(S)、5/3 水沢林道(S)

ホトギス : 4/30 土屋(1羽)

サシバ : 4/9 土屋、4/26 茅ヶ崎・芹沢、4/30 土屋(1羽、採餌)

コチドリ : 4/16 遠藤原(2羽)

クロツグミ : 4/17 山北(S)、4/21 山北(S)、5/3 水沢林道(S)

コアジサシ : 4/18 照ヶ崎(3羽)

コムクドリ : 4/18 酒匂川

ムナグロ : 4/18 酒匂川(3羽)、4/30 遠藤原(1羽)

オオヨシキリ : 4/18 酒匂川、4/29 大磯、4/30 土屋

キビタキ : 4/18 逗子、4/20 吉沢(S)、4/21 山北(S)、4/23 土屋( 1羽)、4/24 吉沢(S)、4/29 鷹取山(S)、4/30 土屋( 1羽)、5/1 吉沢、5/3 水沢林道(S)、その他多数

ミソサザイ : 4/18 玄倉林道(S)、5/3 水沢林道(S)

サンショウクイ : 4/24 山北、4/28 青葉区(S)、5/1 吉沢(S)

エナガ : 4/21 境川(雛 14羽+)

イカル : 4/21 山北(S)、4/30 土屋(6羽)

ミゾゴイ : 4/6 吉沢

アオバズク : 4/28 羽白山(S)

コサギ : 鮮やかな婚姻色が見られる

タマシギ : 4/26 茅ヶ崎・芹沢( 2羽)

クサシギ : 4/26 吉沢(2羽)

マヒワ : 4/16 土屋(29羽)、4/23 土屋(約 120羽)、4/26 吉沢(25羽、地上で採餌)

次回の定例探鳥会は2004年6月13日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第207号 / 5月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/> (アドレスが変更されました)

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>